

2015 年度第 1 回「鳥居基金」助成実施報告(TE-84)

氏名(所属)：石野咲子(東京工業大学大学院 総合理工学研究科)

助成：国内研究集会

集会名：日本地球化学若手シンポジウム 2015

期間：2015 年 9 月 18 – 20 日

本文：

日本地球化学会「鳥居基金」の助成を受けて、日本地球化学若手シンポジウム 2015 を開催しましたので報告いたします。今年度は東京都八王子市にある大学セミナーハウスにて、9/18～20 のスケジュールで行いました。今回は「質問しよう」をテーマとし、例年行っている招待講演やポスター発表の他に、講師のご講演に対する質問を考えるグループワークや、質問時間を長く設定した口頭発表を交えたプログラムを企画しました。当日は学部生から大学講師まで総勢 42 名の方にご参加いただき、分野だけでなく世代も超えた交流を行うことができました。

招待講演には高橋嘉夫先生(東京大学)をお招きし、原子とイオンの性質に基づいて地球システムのマクロな現象の理解を目指す「分子地球化学」の魅力についてお話いただきました。「質問しよう」を全員が意識しながら、非常に集中して講演を聞いている姿が見られました。直後に行ったグループディスカッションでは、各グループがベスト質問賞を目指し、制限時間を大幅に超過する熱の入った議論となりました。特別講演では、論文作成の指南書を出版していらっしゃる東北大学の酒井聡樹先生をお招きして、論文書き方講座を行っていただきました。今回はイントロダクションとタイトルの書き方に関するお話が重点的でしたが、論文執筆経験の無い人に限らず大変勉強になる内容でした。参加者同士の口頭・ポスター発表を通しては、一部ではまだなかなか質問できないという感想も聞かれましたが、今回のシンポジウムをきっかけとして、まず質問を意識しながら能動的に話を聞くことの重要性を実感できたと思います。最終日には、ジャスコインタナショナル株式会社にご協力いただき、地球化学に関連した分析装置を見学・体験するラボツアーを行いました。今回は同位体比質量分析計(IRMS)と走査型電子顕微鏡(SEM)を見学しましたが、初めての人はもちろん、経験者も改めて学ぶことの多い会となりました。

シンポジウム開催にあたって、実行委員として運営に協力してくださった先輩方、素晴らしい講演を用意してくださった先生方、ラボツアーを企画してくださったジャスコの皆様、そして当日の参加者の皆様のおかげで、成功裏に終えることができました。また、会議施設利用費や、遠方旅費援助等、参加者の参加費のみで賄うことが難しいものも多々ありましたが、鳥居基金の援助によって無事に全ての準備を調えることができました。皆様のご協力があってシンポジウムが開催できたことを、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

す。本当にありがとうございました。



集合写真 上・中：セミナーハウスにて、下：ジャスコインタナショナル株式会社にて
提出日：2015年9月25日